

6月10日：マーケットは弱含み、VN 指数は反落

利益確定売りは投資家心理の重しとなり、VN 指数は反落した。

ホーチミン市場のVN 指数は0.7% (9.32ポイント)の小幅安となり、終値は1,323.58ポイントだった。同指数は直近2日続落し、1%ほど値を戻していた。

値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、236銘柄が下落、162銘柄が上昇した。

出来高も高水準で、売買高は7億2,320万株以上、売買代金は25兆3,000億ドン (11億ドン) となった。

大型株、主に銀行、不動産セクターの下落により、株価は値を下げた。

VN 30 指数は0.45%安の1,451.18ポイントで取引を終えた。同指数採用銘柄のうち、21銘柄が下落、6銘柄のみ上昇した。3銘柄は変わらずだった。

「VN 指数は今後1,285~1,300ポイント付近の下値支持線まで下がる可能性がある」
(バオベト証券の株式シニアアナリストの Tran Xuan Bach 氏)

「しかし同指数は下値指示線に近づくと反発するだろう」 (同氏)

「同指数が1285ポイントの下値支持線を割り込めば、マーケットは短期的に弱含む可能性がある」 (同氏)

「投資家はポートフォリオのうち、株式の保有比率を35~45%に減らすのが良い」
(同氏)

「我々は今後のマーケットの動向を気にしている。そのため短期的なマーケットの反発は、株式の保有比率を安全なレベルまで減らすチャンスであると考えている」 (同氏)

不動産、銀行セクターは、ホーチミン市場への影響が最も大きかった。値下がり寄与度のトップは、1.94%安のビンググループ。それに続いてベトナム投資開発銀行 (BID)、ベトナムバンク (VCB)、ビナミルク (VHM)、ベトナムゴム工業グループ (GVR) が0.2~3.41%下落した。

他にもヴィエティンバンク（CTG）、テクコムバンク（TCB）、ノバランド投資開発グループ（NVL）、マサングループ（MSN）、ペトロベトナムガス（GAS）といった多くの銘柄が1%を超える下げとなった。

その一方で、マーケットを下支えした銘柄もあった。ビナミルク（VNM）+3.48%、ホアファットグループ（HPG）+2.58%、サイゴンビール・アルコールグループ（SAB）+1.98%とマーケットを支えた。

ハノイ市場のHNX指数は大型株の下落が重しとなり、1.75%安の311.32ポイントで取引を終えた。HNX30指数も2.17%安の481.31ポイントだった。

売買高は約1億4,920万株で、売買代金は3兆6,000億ドン（1億5,680万米ドル）を超えた。

外国人投資家は合わせて2,098億9,000万ドン（910万米ドル）を買い越した。

そのうち、ホーチミン市場で2502億5000万ドン（1,090万米ドル）、UPCOM市場で226億2,000万ドン（98万3,226米ドル）が買い越しとなり、ハノイ市場では629億8,000万ドンを売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。